

令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

わが国においては、経済の回復基調が続く中、少子高齢化により労働力人口の減少が進み、雇用情勢が大きく改善する一方で、企業における人手不足が顕在化しております。

国では、生涯現役社会の実現に向けて、意欲のある高齢者に働く場を準備し、希望する高齢者については、就業機会の確保を図りつつ、シルバー人材センターの機能強化など、働きやすい環境を整備するとしております。

このような中、当センターにおいては、会員一人ひとりが長年培ってきた知識や技能・経験を生かした就業や奉仕活動などを通じ、地域社会の活性化に貢献できるよう事業展開してまいりました。

令和元年度の請負・委任における契約金額は、1億5,838万円余で対前年度比3.43%減、金額にして563万円余の減となりました。

また、適正就業に関しては、請負や委任で受託できない業務について、シルバー派遣事業の推進に努めており、昨年度に比べ、受注件数、就業延べ人数ともに増加しております。

会員数については、令和元年度末で332人となり、前年度末と比べ1人の増となりました。

会員数は、企業における定年延長や再雇用制度が定着したことにより、ここ数年減少傾向が続いておりますが、今後も会員数の拡大に向けて一層の取り組みが必要となっております。

これからも当市シルバーが、地域社会の活性化に貢献できるよう積極的な事業の推進に努めてまいります。

以下、事業計画に基づき実施いたしました主な事業内容について報告します。

I 基本方針

- 1 組織体制の充実強化
- 2 普及啓発事業の推進、就業機会の拡大
- 3 福祉・家事援助事業の推進

- 4 安全・適正就業対策と健康管理の推進
- 5 シルバーワークプラザ指定管理事業推進及び施設活用促進
- 6 高齢者等声かけごみ収集支援事業の推進
- 7 調査研究活動
- 8 社会奉仕活動
- 9 シルバー派遣事業の推進

II 事業実施計画

1 組織体制の充実強化

- (1) 理事会、各委員会、地域班との相互の連携を図り、センター全体として組織強化を図った。
- (2) 新入会員拡大の推進に関する報奨制度による新入会員の紹介は10人となり、新規会員の加入促進を図った。
- (3) 入会説明会を毎月第二金曜日に開催し、センターの目的・理念、事業の仕組み、安全就業の心得などについて年間12回実施し、参加者数は、66人でした。
- (4) 全シ協・東海・県シ連・東部ブロック・沼駿地区が主催する安全・適正就業推進研修会などの各種研修会や派遣システム研修会、派遣元責任者研修会などシルバー派遣事業に係る研修会へ積極的に参加した。

2 普及啓発事業の推進、就業機会の拡大

- (1) 普及啓発事業の一環として広報紙「仲間」を6月号、9月号の年間2回発行するとともに、市内全戸配布の「シルバーごてんば」は年明け1月に発行した。また、ホームページに「仲間」を掲載するとともに、地域社会奉仕活動等を必要に応じて更新した。
- (2) 就業開拓のために市内企業等（兼賛助会員依頼）を訪問し、高年齢者に適した安全な就業先が確保できるよう依頼した。
- (3) シルバーワークプラザ及び市民交流センターを会員の就業の場として有効活用を図った。
- (4) 独自事業「ステップアップ教室」の充実発展に努め、世代間交流を促進する事業としても実施した。

3 福祉・家事援助事業の推進

- (1) 高齢者のひとり暮らし世帯等への支援充実を図るため、軽度生活援助事業及び高齢者等声かけごみ収集支援事業に携わる会員を対象に、合同研修会を実施した。また、行政との情報交換、調理実習などの研修を福祉援助推進委員会が中心となり実施した。

4 安全・適正就業対策と健康管理の推進

- (1) 安全対策委員会による就業時の安全対策強化・指導及びパトロールを実施し事故防止に努めた。
- (2) 職群別安全教育の実施と事故防止対策を推進するため、現場では日頃から作業班長をリーダーとして、互いに声を掛け合い安全確認を励行した。
- (3) 県シ連主催の安全・適正就業推進研修会（7/12）に安全対策委員、担当職員が参加し、日々の業務における安全就業の大切さを再認識した。
- (4) 安全保護具の使用、機械・器具の点検整備など自らの責任で確実に実施するよう呼びかけ、安全就業意識が更に高まるよう啓発に努めた。

5 シルバーワークプラザ指定管理事業推進及び施設活用促進

ワークプラザは、シルバー人材センターが御殿場市から指定管理者の指定を受け、年間を通してその管理と活用を図っている。独自事業である「ステップアップ教室」の学びの場、「声かけごみ収集支援事業」のステーション、障子や襖の張替え作業など就業の場、会員の研修の場としても幅広い活用を図った。更に、市民を対象とした「健康教室」などの事業を実施し、その活用の幅を広げた。

また、恒例の シルバーまつり（3/7）については、新型コロナウイルスの感染拡大から、市民交流センターまつりとともに中止とした。

令和元年度シルバーワークプラザ利用件数及び人数》

月	作業室 1		作業室 2		技能訓練講習室		計	
	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)
4	27	126	24	56	29	219	80	401
5	26	139	25	63	28	218	79	420
6	31	176	24	57	31	256	86	489
7	22	138	25	59	26	192	73	389
8	21	120	26	60	26	191	73	371
9	24	152	24	66	24	177	72	395
10	21	141	24	55	26	196	71	392
11	23	148	24	56	25	199	72	403
12	20	142	25	64	24	191	69	397
1	22	136	22	51	21	147	65	334
2	19	122	23	56	22	198	64	376
3	22	153	23	56	31	163	76	372
合計	278	1,693	289	699	313	2,347	880	4,739

6 高齢者等声かけごみ収集支援事業の推進

市からの受託事業として、高齢者世帯や障がい者世帯などの安否確認を行いながら対象の世帯を「声かけ巡回」し、ごみがある場合には収集支援した。

特に新規に対象となった世帯には、単にごみ収集サービスだけと間違われぬよう事業の趣旨を理解してもらい、「安否確認」することや「ことばを交し合う」ことの大切さを伝えて実施した。

7 調査研究活動

公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会（県シ連）や近隣センターとの連携、情報交換を行い、会員拡大策や就業先の開拓、財政基盤の確立など、センター運営に係る必要な調査、研究活動を継続して進めた。

8 社会奉仕活動

地域への日頃の感謝の気持ちを表わすため、シルバー会員84人が市民交流センター「ふじざくら」と「あけぼの」「のぞみ作業所」の各施設の草取りや植木剪定、清掃作業及び施設周辺の道路沿いのごみ拾い活動など奉仕活動（9/2）を実施した。

この社会奉仕活動は、大勢の市民にシルバー人材センターを知っていたくとともに、会員相互の交流も深められる場として実施している。

9 シルバー派遣事業の推進

請負・委任業務では困難な就業先での指揮命令を受ける業務について、シルバー派遣事業として県シ連と連携して9事業所、9業務に会員12人を派遣した。

事業活動の概要

1. 会員の状況

(1) 会員の登録状況

平成31年3月31日 現在登録者数			令和元年度						令和2年3月31日 現在登録者数		
			入会者数			退会者数					
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
232	99	331	27	9	36	21	14	35	238	94	332